

# 資源物回収活動事例

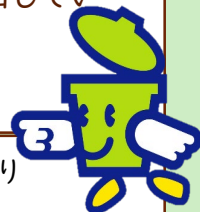
実際に活動している団体にアンケートを行い、資源物回収活動をする中での参考となる事例を教えてくださいましたので一部ご紹介します。

団体の規模や活動団体、活動目的もまちまちなので、お住いの地域では難しい事例もあるかとは思いますが、活動をするうえでの一助となれば幸いです。

## 回収のお知らせ

- ・新たに入居した方に、分別回収日及び資源物回収日を一覧にしたものを配布しています。
- ・新規の転入世帯に集団回収の年間予定表を配布しています。
- ・年間スケジュールと回収1週間前のお知らせにより回収量が安定しています。
- ・回収の3日前にエレベーター内のお知らせを掲示しています。
- ・回収日の前日にLINEで「明日資源物回収日」とお知らせしています。
- ・リサイクルへの意識向上と地域活動参加促進のため、子ども達へ向けた読みやすいお便りを回覧板で回しています。
- ・毎月、回収日のお知らせを掲示したことで出し忘れ等が減っている様です。
- ・集団回収を実施する前に全世帯にチラシを入れているほか、回覧板も回しています。
- ・マンション掲示板、エレベーター内に、次回の回収日を告知しています。

回覧や掲示板でのお知らせの他、LINE等のSNSを活用して周知している団体もありました。また、回収日前に案内することで回収量の確保に繋がっているようです。



## 回収場所周知

- ・回収日の前日、回収場所に赤いコーンを立て「回収」のカードが見えるように置いています。
- ・回収日5日前に回収場所に札掛けをしています。
- ・回収場所に、段ボール、新聞紙などの回収品目毎にラミネートした札を貼ったところ仕分けが楽になりました。



回収場所に目印を置くことで、住民の方への資源物排出への意識にも効果があるようです。

## 当日の案内

- ・回収前日の夕方と、当日の朝にハンドマイクで呼びかけを行っています。
- ・当日町内放送をすると効果的なようです。
- ・雨天により中止の際は回収予定の1時間前に拡声器にてお知らせし、貼り紙にも中止の旨、追記しています。
- ・資源物回収の中止・実施は回収日までにエレベーターに掲示しています。



スピーカー等での案内は効果的なようですが、立地や時間帯によっては音量等について地域にお住いの方への配慮が必要な場合もあるようです。

## 回収量UP

- ・1週間前から掲示をすることで回収量の維持、増加が見込まれます。特にマンションはエレベーターに掲示したことで効果がアップしました。
- ・福岡市の「雑がみ回収促進袋」を全世帯に一袋配布した後、雑がみを手提げ紙袋等に入れて出してもらえる様になり、整理しやすく、回収量も増えています。
- ・集合住宅なので年1回の住民総会の時にごみ出しルールや雑がみ等の回収について話をしたことで、雑がみの回収量が増え資源回収活動の意識が高まってきました。
- ・古紙の出し方をお知らせしたことで燃えるごみだった雑がみが分別して出されるようになりました。
- ・毎月町内便り等で回収日時や資源の再利用を促すお知らせをしています。雑がみの回収量が増えており、また、リサイクルの意識が上がっていると思います。
- ・マンションで郵便受けに入るチラシ等を入れるボックスを設置し、管理人が清掃時に回収してもらったものも雑がみとして出しています。
- ・アルミ缶の回収に積極的に協力してほしい旨をお知らせしたところ、昨年度より多くの回収ができ、不燃ごみの削減にもつなげる事ができました。
- ・空きびん・ペットボトル、燃えないごみの回収日にも、資源物回収への持ち出しのお願いを貼り出しています。
- ・日付が合わない人がいるので、仮置き場所を作ったら回収量が増えました。
- ・段ボールの置き場所を新たに確保した事で例年と同程度の量が確保できるようになりました。

雑がみリサイクル周知のため「雑がみ回収促進袋」を作成しております。地域で配布したい際は、事前に区役所にご連絡いただいたうえでお渡しできます。次回からはお手元にある紙袋で排出してくださいね。



## 協力者増加

- ・特定の世帯に負担が偏らないように、予定を立てて輪番制にしています。
- ・回収担当はボランティアではあるが、年間若干の手当を支給しています。
- ・回収場所には組長さんに1名に立ってもらい1,000円/1回を資源回収報奨金で支払っています。
- ・市からの報奨金から回収活動に協力してくれた方へお礼を渡すようにしたところ、協力を得やすくなりました。
- ・子ども達が子ども会役員と一緒にトラックへの積み込みを手伝っており、手伝ってくれた子どもにはお菓子やジュース等を配布しています。
- ・子ども会の子達に参加させて、1年間頑張った賞の図書カードを渡しています。皆協力し、親子で参加してくれています。
- ・廃品回収終了後、公園横の駄菓子屋さんで子ども達に100円分ご褒美でお菓子選び放題。子どもの参加率が上がれば親(大人)の参加率も上がります。
- ・月1回の清掃時、毎月の恒例行事として実施をしています。町内の方々も恒例行事の意識をもって参加をしていただいています。
- ・資源回収を地域住民の懇親の場として位置付けており、それを強調したPRにより高齢者の参加を促進しています。
- ・回収の参加者に飲み物を渡していますが、資源物を多く出された方にも飲み物を渡すようにしています。
- ・戸別回収に子どもが加わることで、資源回収の雰囲気が良くなり回収や手伝いに参加する人が増えました。
- ・毎回、作業終了後、茶菓子を出しコミュニケーション時間を設けています。

地域や団体の特性に応じてさまざまな工夫をしながら、協力して活動をされておられるようです。



## 地域還元

- ・年2回の町内清掃時に飲み物や参加お礼品を雑がみ回収促進袋に入れて渡すことで、集めた雑がみをリサイクルボックスに入れてくれています。
- ・地域住民、業者様には夏は麦茶。年度始め、年末に活動者には粗品を渡しています。
- ・毎月ポスターを作成して毎月の結果報告と季節のご挨拶と、その報奨金と、業者からの礼金と町内会費で年1回大BBQ大会を自治会の交流イベントとして活動しています。

自治会や町内会が主催する場合は粗品等を配布している団体がありましたが、配布目的や配布する対象も様々でした。



## 不適正排出

- ・お知らせをする際に、「廃品回収」ではなく「資源ごみ」と記載することで、不法投棄が少なくなる感じがあります。
- ・排出マナーを徹底するため、町内会によっては毎月案内を配布し、マナー違反があれば具体的に改善のお願いをしています。
- ・回収できない物があった場合は、持ち帰ってもらうチラシを貼り付けるようにした結果、回収後掃除しなくてもよくなりました。
- ・実施日に、違反持ち出しがあった時には、すぐに正しい持ち出し方を掲示することを続けたところ、今では片づけることなく、いつも指定位置にきちんと持ち出されるようになりました。
- ・回収日を守らない人が多かったが、集積所に毎回次回の回収日を掲示したところ改善されました。
- ・掲示物に福岡市からの雑がみ回収の資料を入れることで注意事項どおりに出されています。



「廃品回収」から「資源物回収」に名称を変更することにより、住民の意識が変わったというご意見がありました。

## その他の工夫

- ・廃品回収（地域集団回収）で出しているアルミ缶を回収業者ではない人が持ち去り困っていたため、対策として集積場所の外から見えるところに回収日時案内を貼るのを止めたところ、持ち去りが無くなり回収量が維持できています。
- ・年3回は子ども育成会による訪問回収をしています。事前アンケートによる高齢者の方からの回収依頼により子ども育成会（小学生）、父兄、自治会役員により回収しています。訪問時にチャイムを鳴らし、資源物が他にないか確認することで、見守りを兼ねた活動をしています。
- ・一人暮らしで資源物の持ち出しが難しい高齢者の方を対象に、事前に申請のあった世帯のみ家まで取りに伺っています。（申請書を管理人ポストに投函してもらい集約）民生委員さんと連携し、災害時に注意すべき世帯の洗い出しにも役立っています。



回収業者によって取り扱い品目や分け方が異なります。

回収日、回収品目、分別方法を住民の方々へしっかりと周知することにより回収量の増加や、不適正排出の抑制につながっているようです。

雑がみ回収促進袋の配布については、効果的という意見もありましたが、一部では作業が大変という声もありました。

地域の実情に応じて、参考にしてください。

環境局 ごみ減量推進課

TEL:092-711-4039

作成：2024年3月

